資料３

平成３１年度

予　算　概　要

ス　ポ　ー　ツ　振　興　費　抜　粋

市　民　局

2　スポーツで育む地域と暮らし　　44億6,507万円（前年度24億5,003万円）

(1)　地域スポーツ活動の支援　　3,437万円（前年度3,871万円）　P. 20

年齢や障害の有無などにかかわらず、誰もが身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを推進するとともに、スポーツ推進委員や地域スポーツ関係団体等と連携し、地域スポーツの振興に努めます。

また、障害者と健常者がともに楽しめるインクルーシブスポーツを推進します。

(2)　市民参加型スポーツイベントの充実　　1,333万円（前年度1,336万円）　P. 21

「横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル」等の多様な市民参加型イベントを充実させることにより、スポーツに親しむ機会を提供します。

(3)　横浜マラソン開催事業　　1億円（前年度1億円）　P. 21

第5回大会（31年11月10日）の開催及び第6回大会の開催準備のため、必要経費の一部を負担します。

(4)　観戦型スポーツイベント等開催事業　　7,601万円（前年度7,591万円）　P. 21

31年度で10回目となる「ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会」の開催のほか、大規模スポーツイベントを誘致・開催支援することで、市民が一流選手のプレーを身近で観戦できる機会を増やし、横浜の魅力を発信して、スポーツ振興やシティセールスを図ります。

2018ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会
©Satoshi TAKASAKI/JTU

(5)　横浜市スポーツボランティアセンター運営事業

650万円（前年度1,200万円）　P. 20

市民がボランティアを通じてスポーツイベントに関われるよう、スポーツボランティアの登録を行い、市内で開催されるスポーツイベントのボランティア情報を提供します。これにより主催者とボランティアのつながりを支援します。

(6)　屋外プール再整備事業　　4億8,830万円（前年度5,700万円）　P. 21

本牧市民プールについて、先行して再整備を進めるため、事業者公募を実施するとともに、既存プールの解体工事を行います。

(7)　横浜文化体育館再整備事業　　2億3,171万円（前年度1,800万円）　P. 21

関内駅周辺地区のまちづくりにおける核施設の一つである横浜文化体育館の再整備を進め、サブアリーナ施設（横浜武道館）の32年7月の供用開始を目指します。

また、併設される民間病院の建設予定地である旧横浜総合高校敷地内の旧河川護岸解体工事を行います。

(8)　ラグビーワールドカップ 2019 開催事業

18 億 4,378 万円（前年度 4 億 2,507 万円）　P. 22

本大会開催年度にあたる 31 年度は、決勝戦の開催都市として、交通輸送、警備、ボランティア、医療・救護、危機管理などについて、各種計画に基づき万全の準備を進めるとともに、記者席の増設などの仮設整備を行い、安全・円滑な大会運営を実施します。

また、ファンゾーン※の設置・運営や公認チームキャンプの受入れを行います。

このほか、シティドレッシング（都市装飾）や様々な広報媒体を活用して本大会のＰＲを行うとともに、ラグビー選手等による小学校訪問を実施するなど、大会に向けた市民の機運醸成やレガシーの創出等に取り組みます。

※大型スクリーンでの試合放映（パブリックビューイング）、飲食物販売、ラグビーの普及啓発等が行われ、観戦チケットがなくても誰でも気軽に集い、楽しみ、交流できるイベントスペースで、開催都市が設置・運営します。

決勝戦１年前カウントダウンボード除幕式（市庁舎前）

シティドレッシング（新横浜駅）

ラグビー選手等による小学校訪問

(9)　東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催準備事業

3 億 6,308 万円（前年度 1 億 3,710 万円）　P. 22

大会開催の前年度にあたる 31 年度は、大会組織委員会等と連携しながら、安全で円滑な大会運営に向けた検討や都市ボランティアの研修などに取り組むとともに、カウントダウンイベント等による機運醸成や英国代表チームの事前キャンプ受入れに向けた準備、ホストタウンとしての取組などを進めます。

また、オリンピアン・パラリンピアンと連携した学校訪問やイベント等を実施し、より一層のスポーツ振興を図ります。

さらに、大会開催を契機に本市を訪れる高齢者・障害者等のお客様が安全で快適に過ごせる環境を整えるため、バリアフリー化に取り組む市内宿泊施設に対し、改修工事に要する経費の一部を補助します。

英国トライアスロンチームと小学生との交流

大会２年前イベント（クイーンズスクエア横浜）

オリンピアンによる小学校訪問

３款１項５目 スポーツ振興費	本年度	前年度	差引	本年度の財源内訳			
				国・県	市債	その他	一般財源
	千円 5,442,948	千円 2,539,318	千円 2,903,630	千円 454,308	千円 1,387,000	千円 528,040	千円 3,073,600

年齢や障害の有無などにかかわらず、市民の誰もが健康で心豊かな生活を送ることができるよう、関係諸団体や市民との連携・協働を進めながら、身近な場所で気軽にスポーツが行える環境づくりを推進します。

そのために、体育館やプール等スポーツ施設の管理運営、イベントの企画・開催、情報の収集・発信や人材の養成など各種事業を実施するとともに、インクルーシブスポーツの推進にも取り組みます。

また、ラグビーワールドカップ2019™及び東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、機運の醸成や本市での競技開催の調整・準備等を進めるとともに、大会を契機に、更なるスポーツ振興に取り組みます。

（１）スポーツ関係団体支援事業　　501,916千円　（前年度681,757千円）

横浜市体育協会等との連携・協働により市民スポーツの普及・振興を図るため、事業費等を補助し、地域レベルでの活動を支援します。

（２）市民スポーツ振興事業　　40,870千円　（前年度50,718千円）

市民が身近な場所で生涯にわたってスポーツに親しむことのできる環境づくりに取り組みます。

また、子どもの体力向上に取り組むとともに、スポーツを通じた国際交流・親善を深めるほか、共生社会の実現を目指し、インクルーシブスポーツを推進します。

さらに、市民が積極的・自発的にスポーツに関われる体制作りやその支援を行うため、横浜市スポーツボランティアセンターを支援します。

ア　スポーツ推進委員支援事業	6,026千円
イ　地域スポーツ支援事業	17,182千円
（ア）総合型地域スポーツクラブ支援費	1,555千円
（イ）ヨコハマさわやかスポーツ普及事業	5,650千円
（ウ）地域スポ―ツ人材養成・活用事業	2,529千円
（エ）子どもの体力向上事業	580千円
（オ）インクルーシブスポーツ推進事業	3,000千円
（カ）その他事務費等	3,868千円
ウ　スポーツ国際交流事業	5,599千円
エ　ジュニア競技力向上事業	5,024千円
オ　横浜市スポーツボランティアセンター運営事業	6,500千円
カ　スポーツ推進審議会費	539千円

（３）スポーツイベント開催等事業　　194,309千円　（前年度196,818千円）

市民スポーツの普及・振興のため、市民参加型の大会やイベントを開催し、市民がスポーツに触れる機会を提供するとともに、地元のプロスポーツチームと連携した地域貢献活動等を通したスポーツ振興を行います。

また、大規模スポーツイベントを誘致・開催支援することにより、市民が一流選手のプレーを身近で観戦できる機会を増やし、市民のスポーツに対する理解と関心を高め、横浜の魅力を発信するなど、スポーツ振興やシティセールスを図ります。

ア　市民参加型スポーツイベント等開催事業	13,337千円
（ア）横浜元気!!スポーツ・レクリエーション フェスティバル（９～11月※原則10月）	3,000千円
（イ）横浜市民体育大会(通年)	2,100千円
（ウ）ＹＯＫＯＨＡＭＡビーチスポーツフェスタ（７・８月）	2,770千円
（エ）よこはまこどもマリンスクール(通年)	750千円
（オ）横浜シーサイドトライアスロン大会（９月）	1,600千円
（カ）その他スポーツイベント開催費等	3,117千円
イ　横浜マラソン開催事業	100,000千円
ウ　観戦型スポーツイベント等開催事業	76,010千円
（ア）ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会（５月）	50,000千円
（イ）全日本ジュニア体操競技選手権大会（８月）	1,000千円
（ウ）全日本少年軟式野球大会（８月）	3,000千円
（エ）大規模スポーツイベント誘致・開催支援事業等	22,010千円
エ　プロスポーツチーム連携事業	4,500千円
オ　ＪＯＣパートナー都市協定事業	462千円

（４）スポーツ施設等管理運営事業　　2,498,983千円　（前年度1,047,847千円）

体育館やプール等のスポーツ振興課所管施設の管理運営を行うとともに、各区所管スポーツセンターの修繕等を実施します。また、特定天井脱落対策事業対象施設の設計・工事を行うとともに、特定天井脱落対策工事に合わせスポーツセンターの体育室に空調機を設置するための設計・工事を実施します。

さらに、横浜文化体育館再整備事業では、PFI事業で整備中のサブアリーナ施設（横浜武道館）の建設モニタリングに加え、民間収益施設（病院）敷地内の旧河川護岸の解体工事を実施します。

屋外プール再整備事業では、本牧市民プール再整備の事業者公募を実施するとともに、既存施設の解体工事を実施します。

ア　横浜国際プール管理運営費	406,455千円
イ　横浜文化体育館管理運営費	69,335千円
ウ　平沼記念体育館管理運営費	23,048千円
エ　旭・都筑プール管理運営費	67,234千円
オ　港南・保土ケ谷・金沢プール管理運営費	80,160千円
カ　特定天井脱落対策事業	784,046千円
キ　スポーツセンター体育室空調設置事業	227,988千円
ク　保土ケ谷プール大規模修繕事業	25,000千円
ケ　施設・設備維持修繕費等	59,208千円
コ　屋外プール再整備事業	488,300千円
サ　横浜文化体育館再整備事業	231,712千円
シ　市民利用施設予約システム事業	36,497千円

（５）ラグビーワールドカップ2019開催事業　　1,843,789千円　（前年度425,078千円）

本大会開催年度にあたる31年度は、決勝戦の開催都市として、交通輸送、警備、ボランティア、医療・救護、危機管理などについて、各種計画に基づき万全の準備を進めるとともに、記者席の増設などの仮設整備を行い、安全・円滑な大会運営を実施します。

また、ファンゾーンの設置・運営や公認チームキャンプの受入れを行います。

このほか、シティドレッシング（都市装飾）や様々な広報媒体を活用して本大会のＰＲを行うとともに、ラグビー選手等による小学校訪問を実施するなど、大会に向けた市民の機運醸成やレガシーの創出等に取り組みます。

ア　開催事業費	1,710,459千円
（ア）　会場整備	541,500千円
（イ）　大会運営	439,734千円
（ウ）　機運醸成	582,701千円
（エ）　キャンプ地その他	146,524千円
イ　大会協賛くじ収益負担金の拠出	133,330千円

（６）東京2020オリンピック・パラリンピック開催準備事業

363,081千円　（前年度137,100千円）

大会開催の前年度にあたる31年度は、大会組織委員会をはじめとした関係機関と連携しながら、安全で円滑な大会運営に向けた検討や都市ボランティアの研修などを着実に進めるとともに、大会１年前などの節目を捉えたカウントダウンイベント等による機運醸成や英国代表チームによる事前キャンプの受入れに向けた準備、ホストタウンとしての取組などを行います。

また、オリンピアン・パラリンピアンと連携した学校訪問やイベント等を実施し、市民、とりわけ次代を担う子どもたちのより一層のスポーツ振興を図ります。

さらに、大会開催を契機に本市を訪れる高齢者・障害者等のお客様が安全で快適に過ごせる環境を整えるため、バリアフリー化に取り組む市内宿泊施設に対し、改修工事に要する経費の一部を補助します。

ア　東京2020オリンピック・パラリンピック横浜市推進事業	285,351千円
イ　オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ振興事業	17,730千円
ウ　宿泊施設バリアフリー化促進事業	60,000千円